

# 1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位	3 単位
対象コース	美術	コース	対象クラス	2 年	6 組
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication I (KEIRINKAN) LANDMARK Fit English Communication II (KEIRINKAN)				
使用副教材	LANDMARK Fit English Communication I ワークブック、 ユメタン0				

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

**学習目標：**この科目を学習して何を身につけてほしいのか

コミュニケーション英語Ⅰでは4技能を統合的に伸ばすために、受身で情報を得るだけでなく、発話やライティングを通して発信することが求めてきた。またⅡでは目的に応じて読み方を変えたり、よりまとまった量の文章を書いたりしてきた。このコミュニケーション英語Ⅱでは今までの学習体験を踏まえて、コミュニケーションに活用できる基本的なスキルを習得することを目指す。

**学習内容：**この科目で学習する大まかな内容

学習指導要領の「外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」に鑑み、より英語を用いて生徒が活動をする授業を目指す。音読から、英作文などを行い、使える語彙やフレーズを増やすことを目指す。また本文の内容を規定語数で要約したり、書いたものをもう一段高いレベルでの発信に繋げたりする。

**学習方法：**この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

- ・音読をはじめとする活動に積極的に参加する。
- ・文章を的確に理解し、自分の言葉で要約する。

(2) 家庭

- ・文章をあらかじめ読んでおき、予習プリントに取り組む。
- ・課題に真面目に取り組む。

# 3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

**評価方法：**何を使って評価するのか

- ・定期考査：全5回の考査でそこまでの理解度を見る。(60%)
- ・提出物：定期的に出される課題をこなし、期日に確認する。(20%)
- ・小テスト：毎週初回の授業で単語テストを実施し、語彙の定着を見る。(10%)
- ・参加姿勢：授業へ取り組む姿勢や、英語を使ってコミュニケーションをしようという積極性を見る。(10%)

評価における定期考査の割合

60 %

# 4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

**評価の観点：**この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ること (授業への参加として評価)

(2) 外国語表現の能力

自分の知識や意見を英語で伝えることができること、  
また他の学習者のものも理解することができること (授業への参加として評価)





(3) 外国語理解の能力



英語を使って、積極的に表現し、またその技能を洗練させるための努力を継続的にしていること (課題提出、授業への参加として評価)

(4) 言語や文化についての知識・理解

一定期間に学習した内容をきちんと理解し、有形無形の手段で表現できること (定期考査、小テストの成績として評価)

## 5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK						
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	表	理	知	○△×					
1	4	(LANDMARK Fit I) Lesson 8 Mariko Nagai, Super interpreter	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通訳者の過酷な仕事について理解する。</li> <li>・長井さんの卓越した仕事ぶりを理解する。</li> <li>・通訳の仕事や長井さんについて意見交換する。</li> <li>・使役動詞、分詞構文についての表現を理解する。</li> </ul>	○	○	○	○						
		5							第1回考査	○	○	○	○
		6							Lesson 9 Space Elevator	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙エレベーターの仕組みや実現性について理解する。</li> <li>・宇宙旅行についての意見交換をする。</li> <li>・仮定法過去をはじめとした表現を理解する。</li> </ul>	○	○	○
	7	第2回考査											
	8	Lesson 10 Friendship over time	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エルトゥールル号事件の背景や、それに関連した日本とトルコの親交関係について理解する。</li> <li>・国を超えたつながりの重要性について意見を交換する。</li> </ul>	○	○	○	○						
	9	第3回考査											
	(LANDMARK Fit II) Lesson 1 I'm the Strongest!								  <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすテニス選手の国枝慎吾氏の話を読み、彼の活躍について理解する。</li> <li>・ifを使用した間接疑問を使用して、表現活動を行う。</li> <li>・障がいを持った人々の活躍や支援の仕方について意見交換をする。</li> </ul>	○	○	○	○
	10	第4回考査											
	11	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線の清掃担当業者の話を読んで、彼らの取り組みが成功した理由について理解する。</li> <li>・形式目的語を含む文を用いて表現活動を行う。</li> <li>・よりよい「仕事」をどのように提供できるか、意見交換をする。</li> </ul>	○	○	○	○						
12	Lesson 3 Saint Bernard Dogs	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スイスでのセントバーナード犬が救助犬として活躍してきた歴史や、瀕した問題について理解する。</li> <li>・補語が分詞の文を用いて表現活動を行う。</li> <li>・アニマルライツについて意見交換をする。</li> </ul>	○	○	○	○							
3	1							Lesson 4 Chanel's Style	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャネルがファッション業界に与えてきた影響について理解する。</li> <li>・関係詞の非制限用法を用いて、表現活動を行う。</li> <li>・時代を変革した人物について意見交換をする。</li> </ul>	○	○	○	○

学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
3	2	Lesson 5 Science of Love 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が他人を愛する理由に関する3つの理論をそれぞれ理解する。</li> <li>・様々な従属節を含む文を用いて表現活動をする。</li> <li>・3つの理論を基に、それぞれが考えたことをまとめる。</li> </ul>	○		○	○	
	3	Lesson 6 Gaudi and His Messenger① 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サグラダ・ファミリアの建築の歴史と、それに携わる日本人の動機について理解する。</li> <li>・分詞構文を用いて表現活動をする。</li> </ul>	○		○	○	

【SDGsの各ターゲットについて】  
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】  
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は  
アイコンをクリック

道徳

※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に  
コピーしてご使用下さい

### SDGsターゲットアイコン



### 道徳教育アイコン



下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に  
コピーして下さい

### SDGsターゲットアイコン



### 道徳教育アイコン

